

日本学術会議だより

No.22 より抜粋

第15期最初の総会開催される

平成3年8月 日本学術会議広報委員会

日本学術会議の第15期が7月22日から発足し、7月22日～24日の3日間、第15期最初の総会が開催されましたので、その総会等についてお知らせします。

日本学術会議第112回総会報告

7月22日の第15期の発足に伴い、内閣総理大臣による日本学術会議会員の辞令交付が行われた。第15期の会員は、選出制度が学術研究団体を基礎とする推薦方式になって、3回目の会員である。この第15期会員による最初の総会である、第112回総会が7月22日から24日までの3日間、本会議講堂で開催された。

第1日目(22日)は、午前は新会員への辞令交付式があり、午後総会が開会され、直ちに、会長及び両副会長の選挙が行われた。会員による互選の結果、会長には近藤次郎第5部会員が13期、14期に引き続き三選された。人文科学部門の副会長には、川田侃第2部会員、自然科学部門の副会長には、渡邊格第4部会員が選出された(渡邊副会長は再選)。選挙終了後、近藤会長から「新人の方が半数以上おられ、大きな抱負をもっておられると思う。挫折感を持つことのないようできるだけの努力をしたい。皆様にも御協力をお願いしたい」との就任のあいさつがあり、又、川田、渡邊両副会長からもそれぞれ就任のあいさつがあった。

会長、副会長選出後は、直ちに各部会が開催され、各部の部長、副部長、幹事の選出が行われた。(第15期の役員については、別掲を参照)

第2日目は10時に総会が開会され、近藤会長が14期の会長という資格で第14期の総括的な活動報告を行った。その報告の折々には、国際交流とか、将来計画委員会、学術会議の予算等、会長の感慨、または感想をも交えてその所感を述べた。続いて、会員推薦管理会報告として、久保亮五委員長の代理として事務総長が、第15期会員の推薦を決定するまでの経過報告を行った。

引き続き、会長から3日目の総会で提案・審議する予定の「第15期活動計画委員会の設置について(申合せ案)」に関する各部での事前討議について、並びに各常置委員会の各部での委員の選出について、それぞれ各部へ依頼した。

総会終了後、各部会が開催され、前述の申合せ案の討議及び各常置委員会委員の選出等が行われた。

第3日目(24日)10時に総会が開会され、会長から「第15期活動計画委員会の設置について」の提案が行われた。これは、第15期の活動の基本計画の立案を目的とする臨時の委員会を次の定例総会までの間、設置するという

内容としている。そしてこの提案は原案どおり可決された。総会終了後、直ちに各部会が開会され、設置が決定された第15期活動計画委員会委員の選出等が行われた。

なお、この第15期活動計画委員会は、総会期間中に第1回の会議を開き、全会員を対象にした第15期の学術会議の活動に関するアンケートの実施を決めるなど、早速その活動を開始した。

また、運営審議会附置委員会、常置委員会、国際対応委員会等も活動を開始した。

第15期日本学術会議役員

会長	近藤 次郎 (第5部・経営工学)
副会長	川田 侃 (第2部・政治学)
副会長	渡邊 格 (第4部・生物科学)

<各部役員>

第1部	部長	肥田野 直 (心理学)
	副部長	弓削 達 (歴史学)
	幹事	一番ヶ瀬康子 (社会学)
	"	山本 信 (哲学)
第2部	部長	西原 道雄 (民事法学)
	副部長	細谷 千博 (政治学)
	幹事	正田 彬 (社会法学)
	"	山下 健次 (公法学)
第3部	部長	大石 泰彦 (経済政策)
	副部長	島袋 嘉昌 (経営学)
	幹事	岡本 康雄 (経営学)
	"	藤井 隆 (経済政策)
第4部	部長	中嶋 貞雄 (物理科学)
	副部長	田中 元治 (化学)
	幹事	竹内 郁夫 (生物科学)
	"	樋口 敬二 (地球物理学)
第5部	部長	岡村 総吾 (電子工学)
	副部長	市川 惇信 (計測・制御工学)
	幹事	内田 盛也 (応用化学)
	"	増子 昇 (金属工学)

- 第6部 部長 中川昭一郎 (農業総合科学)
 副部長 水間 豊 (畜産学)
 幹事 志村 博康 (農業工学)
 " 平田 熙 (農芸化学)
- 第7部 部長 岡田 晃 (社会医学)
 副部長 伊藤 正男 (生理科学)
 幹事 渥美 和彦 (内科系科学)
 " 金岡 祐一 (薬科学)

(注) カッコ内は、所属部・専門

第15期日本学術会議会員の概要について

この度任命された210人の第15期日本学術会議会員の概要を以下に紹介する。(カッコ内は前期)

- 1 性別 男子207人(207人) 女子3人(3人)
 2 年齢別 50~54歳 3人 55~59歳 29人
 60~64歳 105人 65~69歳 58人
 70~74歳 15人

- 最年長 74歳 (76歳)
 最年少 54歳 (51歳)
 平均年齢 63.5歳 (63.1歳)

3 勤務機関及び職名別

- (1) 大学関係 国立大学 71人(78人)
 公立大学 2人(4人)
 私立大学 93人(88人)
 その他 3人(2人)
 計 169人(172人)

- (2) 国公立試験研究機関・病院等 11人(9人)
 (3) その他 法人・団体関係 9人(10人)
 民間会社 9人(6人)
 無職 10人(13人)
 その他 2人(0人)
 計 30人(29人)
- 4 前・元・新別 前 会員 88人(109人)
 元 会員 3人(4人)
 新 会員 119人(97人)
- 5 地方別(居住地) 北海道 4人(3人)
 東北 8人(6人)
 関東 133人(130人)
 中部 20人(17人)
 近畿 34人(42人)
 中国・四国 5人(4人)
 九州・沖縄 6人(8人)

(注) 詳細については、日本学術会議月報7月号を参照

御意見・お問い合わせ等がありましたら、下記までお寄せください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34

日本学術会議広報委員会 電話03(3403)6291

天体観測専門誌

天文ガイド

12月号 定価620円(税込) 11月5日発売

野辺山電波観測所見学記

アメリカの天文雑誌記者

シノット氏の見た
日本アマチュア天文界

12月13日のふたご座流星群

12月21日の部分月食

NEW FACE TEST REPORT

●望遠鏡発達史●星雲の造形●入門天体望遠鏡光学

■12月の星空 ■12月の天文現象観測資料 ■観測ガイド(流星ガイド・彗星ガイド・惑星ガイド・惑星の衛星ガイド・小惑星ガイド・星食ガイド・小惑星の食ガイド・接食ガイド・人工天体ガイドほか)

星空ガイド1992

藤井旭 企画/構成 予定価850円 11月上旬発売予定

1992年中に起こる楽しい天文現象を1ヵ月あたり4頁にまとめたカレンダー一式の天文観測のガイド帖です。

天文年鑑1992年版

天文年鑑編集委員会編 予定価680円 11月中旬発売予定

1992年1月から12月にかけての、天文現象の詳しいデータ集です。土星や木星など惑星の見やすい時期は等。

万能星座早見1992, 1993年版

藤井旭 企画/構成 予定価970円 11月中旬発売予定

世界各地で使用できる、切ぬき式星座早見です。国内でも使用でき、'92・'93年のデータも満載しました。

天体の軌道計算(Orbit Work)

中野主一著 予定価2800円 11月下旬発売予定

軌道計算の理論から実際まで、彗星の軌道決定、位置推算、軌道改良のプログラムが付いています。

誠文堂新光社

受注センター(練馬支社) 東京都練馬区豊玉上2-6 電話(03)5999-5121 FAX(03)5999-5120
 本社 東京都中野区弥生町1-13-7 電話(03)3373-7171 FAX(03)3373-7100